

■タイトル

「なんだ、コレは!」

信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化

■所在自治体 新潟市・三条市・長岡市・魚沼市・十日町市・津南町

■ストーリーの概要

日本一の大河・信濃川の流域は、8,000年前に気候が変わり、世界有数の雪国となった。この雪国から5,000年前に誕生した「火焰型土器」は大仰な4つの突起があり、縄文土器を代表するものである。火焰型土器の芸術性を発見した岡本太郎は、この土器を見て「なんだ、コレは!」と叫んだという。火焰型土器を作った人々のムラは信濃川流域を中心としてあり、その規模と密集度は日本有数である。このムラの跡に行けば、5000年前と変わらぬ独特の景観を体験できる。また、山・川・海の幸とその加工・保存の技術、アンギン、火焰型土器の技を継承するようなモノづくりなど、信濃川流域には縄文時代に起源をもつ文化が息づいている。火焰型土器は日本文化の源流であり、浮世絵、歌舞伎と並ぶ日本文化そのものなのである。

■主な構成文化財

- 【国】 箕山遺跡出土品（十日町市）
- 【国】 馬高・三十稲場遺跡（長岡市）
- 【国】 堂平遺跡出土品（津南町）

■問い合わせ先

信濃川火焰街道連携協議会
新潟県長岡市大手通1丁目4番地10
TEL: 0258-39-2204 FAX: 0258-39-2272
E-mail: info@city.nagaoka.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら



川岸段丘群（津南町教育委員会提供）



国宝・新潟県十日町市箕山遺跡出土土器群（十日町市教育委員会提供）

【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



日本国創成のとき～飛鳥を翔（かけ）た女性たち～ イラスト



神統天皇行幸再現

■タイトル

日本国創成のとき

～飛鳥を翔（かけ）た女性たち～

■所在自治体 明日香村・橿原市・高取町

■ストーリーの概要

日本が「国家」として歩み始めた飛鳥時代。この日本の黎明期を牽引したのは女性であった。この時代の天皇の半数は女帝であり、彼女たちの手によって、新たな都の造営、外交、大宝律令を始めとする法制度が整備された。

また、文化面では、女流歌人が感性豊かな万葉歌を高らかに詠い上げ、宗教面では、尼僧が仏教の教えを広め、発展させるなど、政治・文化・宗教の各方面で女性が我が国の新しいかたちを産み出し、成熟させていった。

日本国創成の地である飛鳥は、日本史上、女性が最も力強く活躍した場所であり、その痕跡が色濃く残る地である。

■主な構成文化財

- 【国】 高松塚古墳壁画（明日香村）
- 【国】 橿原宮跡（橿原市）
- ◆ 町指定文化財 高取城跡猿石（高取町）
- 【国】 飛鳥寺跡（明日香村）
- 【国】 飛鳥宮跡（伝飛鳥板蓋宮跡）（明日香村）

■問い合わせ先

日本遺産「飛鳥」魅力発信事業推進協議会
奈良県高市郡明日香村大字川原91-3
TEL: 0744-54-5600 FAX: 0744-54-5602
E-mail: bunkazai@tobutori-asuka.jp

構成文化財など詳しくはこちら



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



黄金の国ジバングの礎となった砂金



大谷金山大精進所跡(宮城県気仙沼市)

■タイトル

みちのくGOLD浪漫

—黄金の国ジバング、産金はじまりの地をたどる—

■所在自治体 岩手県(平泉町・陸前高田市)宮城県(気仙沼市・南三陸町・涌谷町)

■ストーリーの概要

日本で初めて“金”が産出されたのは奈良時代の陸奥国。現在の岩手県や宮城県を含み「みちのく」とも呼ばれるこの地が生んだ“金”は富の象徴のみならず、奈良・東大寺の大仏や平泉・中尊寺金色堂を彩り、折りの対象として人々の心に光を灯し続けてきました。私たちは、時代とともに幾重にも結び付き、独自の文化や信仰、産業へと昇華した“金”と人々の縁を“みちのくGOLD”と名付け、価値や魅力の掘り起しを始めました。日々の生活や風土に溶け込んだ“みちのくGOLD”との出会いは、悠久の時を経ても色褪せることのない浪漫に満ち溢れています。

■主な構成文化財

【国】 黄金山産金遺跡(宮城県涌谷町)

【国】 中尊寺金色堂(岩手県平泉町)

◆ 田東山経塚群(宮城県南三陸町)

◆ 玉山金山遺跡(岩手県陸前高田市)

◆ 鹿折金山跡(宮城県気仙沼市)

■問い合わせ先

涌谷町教育委員会生涯学習課文化財保護班

宮城県遠田郡涌谷町涌谷字黄金山1番地3

TEL: 0229-43-2101 FAX: 0229-43-2109

E-mail: gr-bunkazai@town.wakuya.miyagi.jp

構成文化財など詳しくはこちら



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

■タイトル

“日本最大の海賊”の本拠地:芸予諸島

—よみがえる村上海賊“Murakami KAIZOKU”の記憶—

■所在自治体 今治市(愛媛県)、尾道市(広島県)

■ストーリーの概要

戦国時代、宣教師ルイス・フロイスをして“日本最大の海賊”と言わしめた「村上海賊」“Murakami KAIZOKU”。理不尽に船を奪い、金品を略奪する「海賊」(パイレーツ)とは対照的に、村上海賊は掟に従って航海の安全を保障し、瀬戸内海の交易・流通の秩序を支える海上活動を生業とした。その本拠地「芸予諸島」には、活動拠点として築いた「海賊」群など、海賊達の記憶が色濃く残っている。尾道・今治をつなぐ芸予諸島をゆけば、急流が渦巻くこの地の利を活かし、中世の瀬戸内海航路を支配した村上海賊の生きた姿を現代において体感できる。

■主な構成文化財

【国】 能島城跡(今治市)

◆ 因島村上家伝来資料群(尾道市)

◆ 能島村上家伝来資料群(今治市)

◆ 白滝山(五百羅漢像)(尾道市)

【国】 大山祇神社の文化財(今治市)

■問い合わせ先

村上海賊魅力発信推進協議会

広島県尾道市久保一丁目15番地1号

TEL: 0848-20-7425 FAX: 0848-37-2740

E-mail: bunkazai@city.onomichi.hiroshima.jp

構成文化財など詳しくはこちら



能島城跡



村上新藏人言光像

能島村上家伝来夏袴羽織

【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

■タイトル

忍びの里 伊賀・甲賀 —リアル忍者を求めて—

■所在自治体 甲賀市(滋賀県)・伊賀市(三重県)

■ストーリーの概要

忍者は今やテレビやアニメを通じて海外にまで広く知れ渡り、奇抜なアクションで人々を魅了している。忍者の名は広く知られていても、真の姿を知る人は少ない。伊賀・甲賀は忍者の発祥地として知られ、その代表格とされてきた。複雑な地形を利用して数多くの城館を築き、互いに連携し自らの地を治め、地域の平和を守り抜いた集団であり、伊賀・甲賀流忍術は、豊かな宗教文化や多彩な生活の中から育まれた。忍びの里に残る数々の足跡を訪ねれば、リアルな忍者の姿が浮かび上がる。伊賀・甲賀、そこには、戦乱の時代を駆け抜けた忍者の伝統が今も息づいている。

■主な構成文化財

【国】上野城跡(平楽寺跡)(伊賀市)

【国】油日神社の文化財群(甲賀市)

◆ 手力神社と手力の花火(伊賀市)

◆ 甲賀忍術博物館建物群(甲賀市)

◆ 伊賀流忍者博物館(伊賀市)

■問い合わせ先

忍びの里伊賀甲賀忍者協議会(甲賀市観光企画推進課内)

滋賀県甲賀市水口町水口6053 番地

TEL: 0748-69-2190 FAX: 0748-63-4087

E-mail: koka10352000@city.koka.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



伊賀上野城



油日神社

【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



日和山公園(酒田市)



加賀市加賀藩立伝統的建造物部保存地区(加賀市)

■タイトル

荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間

～北前船寄港地・船主集落～

■所在自治体 北海道函館市・松前町・小樽市・石狩市・青森県鯉ヶ沢町・深浦町・野辺地町・秋田県秋田市・にかほ市・男鹿市・能代市・由利本荘市・山形県酒田市・鶴岡市・新潟県新潟市・長岡市・佐渡市・上越市・出雲崎町・富山県富山市・高岡市・石川県加賀市・輪島市・小松市・金沢市・福井県敦賀市・南越前町・坂井市・小浜市・京都府宮津市・大阪府大阪市・兵庫県神戸市・高砂市・新温泉町・赤穂市・洲本市・姫路市・たつの市・鳥取県鳥取市・島根県浜田市・岡山県倉敷市・広島県尾道市・呉市・竹原市・香川県多度津町

■ストーリーの概要

日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。

■問い合わせ先

北前船日本遺産推進協議会

石川県加賀市大聖寺南町二41番地

TEL: 0761-72-7988 FAX: 0761-72-7991

E-mail: bunkasuishin@city.kaga.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

■タイトル

鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴
～日本近代化の躍動を体感できるまち～

■所在自治体 横須賀市(神奈川県)、呉市(広島県)、佐世保市(長崎県)、
舞鶴市(京都府)

■ストーリーの概要

明治期の日本は、近代国家として西欧列強に渡り合うための海防力を備えることが急務であった。このため、国家プロジェクトにより天然の良港を四つ選り軍港を築いた。静かな農漁村に人と先端技術を集積し、海軍諸機関と共に水道、鉄道などのインフラが急速に整備され、日本の近代化を推し進めた四つの軍港都市が誕生した。百年を超えた今もお現役で稼働する施設も多く、躍動した往時の姿を残す旧軍港四市は、どこか懐かしくも逞しく、今も動れる人々を惹きつけてやまない。

■主な構成文化財

- 【国】 東京湾要塞跡 千代ヶ崎砲台跡(横須賀市)
- 海上自衛隊呉地方総監部第一庁舎(呉鎮守府庁舎)(呉市)
- 【国】 旧佐世保無線電信所(針尾送信所)施設(佐世保市)
- 【国】 舞鶴赤れんがパーク1号棟～5号棟(舞鶴市)

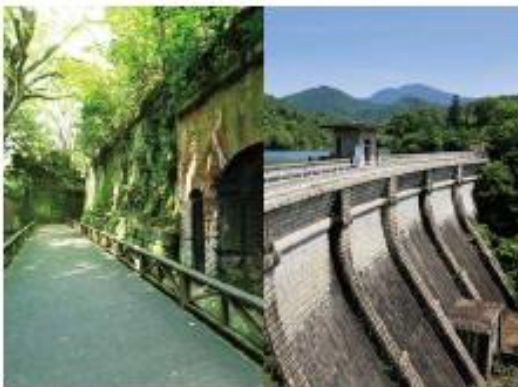
■問い合わせ先

旧軍港市日本遺産活用推進協議会
東京都港区虎ノ門1-16-8 飯島ビル6階
TEL03-5510-3260 FAX03-5510-0030
Email:kyugun@theia.ocn.ne.jp

構成文化財など
詳しくはこちら ↓



【国】 一國指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



東京湾要塞跡
築島砲台跡(横須賀市)

本庄水源地堰堤水道施設(呉市)



佐世保 Arsenal 及び関連施設
丸出山要塞掘削跡(佐世保市)

舞鶴赤れんがパーク(舞鶴市)